

対象クラス	2年生活文化科 3年ビジネス管理・ビジネス情報科	単位数	2
使用教科書	教育出版 高校音楽I 改訂版 Music View		
使用副教材	オリジナルの学習プリント「音楽の基礎知識」		

**「音楽I」はこんな科目です。**

様々な音楽活動を通して、生涯にわたり音楽に親しみ楽しむことができます。創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばして音楽文化についての理解を深めます。

**科目の到達目標（目標とする検定等）**

- ・発声の基礎やギター等、器楽演奏の基礎技術を身に付けます。
- ・芸術歌曲(イタリア歌曲、ドイツリート、日本歌曲など)の曲種に応じた表現を工夫して歌うことができます。
- ・音楽を形づくっている要素を知覚し、自己のイメージを表現するための技能を身に付け、創造的に表現できます。

評価の観点	評価規準・評価内容	評価方法等
音楽への関心・意欲・態度	音楽文化に興味・関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	学習の取り組み状況 学習プリント 授業態度 定期試験
音楽表現の創意工夫	音楽を形づくっている要素を知覚し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるか表現意図をもつ。	学習の取り組み状況 学習発表
音楽表現の技能	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、創造的に表す。	課題進捗状況 実技試験
鑑賞の能力	楽曲や演奏を解釈し、価値を考え、自分なりの考えを述べる。	学習プリント 学習発表 定期試験

**学習計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのか）**

	単元名	学習内容	学習活動のねらい
前期	言葉と音楽  (前期中間試験)  アンサンブル (前期期末試験)	○愛唱歌 世界に一つだけの花 少年時代 他 ○アカペラにチャレンジ Amazing Grace 蛍の光 他 ○歌曲の世界 イタリア歌曲、ドイツリート、日本歌曲 フランス歌曲 他 ○ミュージックベルの演奏 映画音楽メドレー	・姿勢や呼吸法、発声法に気を付けて楽曲の特徴を感じ取りイメージを持って歌う。 ・各パートの役割や音の重なり方を意識し、表現方法を工夫してグループで発表する。 ・言語の語感を生かして発音やフレーズの歌い方などを工夫しながら楽曲にふさわしい表現を追求して独唱する。 ・音色、リズム、旋律、強弱などの要素を理解し、表現を工夫してグループ活動する。
後期	世界中の音楽  音楽の要素とはたらき  合唱 (学年末試験)	○ギターの基礎 夢の中へ カノンによるギターエチュード 他 ○日本の楽器 三線で沖縄の音楽 他 ○創作 リズムアンサンブル 音階と形式と和音 ○鑑賞 西洋音楽史と日本の伝統音楽 ○3部合唱曲 パート練習の取り組み	・ギターの奏法の特徴を生かし、表現を工夫して演奏するとともに、歌いながら弾ける。 ・五音音階の種類と特徴を知覚し、楽器の奏法と表現上の効果とのかかわりを理解する。 ・リズムの読譜や記譜を正しく理解し、アンサンブルの喜びを味わう。 ・楽曲の歴史的背景を知るとともに演奏者による表現の特徴を理解し、意見交換する。 ・各パートの役割を意識し、表現を工夫し合唱の喜びを味わう。